

1. 学勢調査概要

1.1. 調査目的及び改革

学勢調査は、本学における教育改善や施設設備・整備、学内サービス向上と言った大学の事業に学生の声を取り入れ、本学をより魅力のある大学とすることを目的とした全学対象アンケート調査です。学勢調査は本学独自の取り組みであり、国勢調査になぞらえて、「学勢調査」と名付けられました。学勢調査は、2004年の試行を経て、2005年より本格実施となり、学生が分析と提言を行なうシステムとなりました。今回の学勢調査2014は、このシステムが確立してから5回目となり、過去4回の調査では、いずれも学生の意見を大学側に伝える重要な役割を果たしてきました。

図1.1.1は、初回の学勢調査から本学勢調査までの回答者数とその所属課程を示しています。今回行われた学勢調査（以下、「本学勢調査」と記述します）の回答者数は1793名でした。2010年度の2343名が最多数であり、2012年度以降、回答者数が減少傾向にあります。2012年度と比較しますと、回答者数における学部学生の割合が減少しています。回答者数減少の理由として、広報活動が足りないこと、これまでの学勢調査の提言に基づく大学の対応により、学生の不満が減少したことなど、様々な理由が考えられます

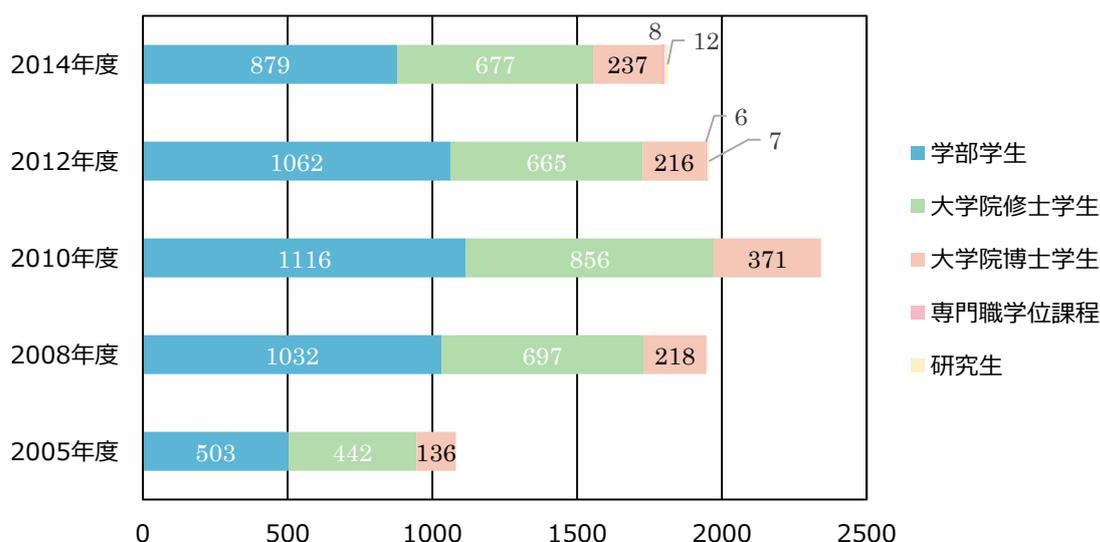


図 1. 1. 1 学勢調査回答者数の推移

一般的な学生生活調査は、主に大学の教職員によって、学生の生活や意見を調査・報告の後、大学事業へ反映されません。この方法では、大学側が学生の意見や動向を正確に把握しないまま、新規のサービスや施設を導入する可能性があるため、大学側の提供するサービスが学生の要望と異なる場合があります。一方、本学の学勢調査では、調査内容設計・調査実施から、具体的な改善案の作成まで学生スタッフが行ないます。一般的な学生生活調査に比べ、学生の視点が入ることにより、調査結果と改善案の関係性が高まり、より正確に大学側が学生の要望に応じたサービスを提供することができます。これまでの具体的な実績として、講義室改修・電子掲示板設置・リフレッシュルーム拡充・学内コンビニエンスストア出店・教務WEBシステム設置等が挙げられます。また、教職員の意識改革も進みつつあり、教職員と学生のすれ違いや不満足を解消する役割を果たしています。

1. 学勢調査概要

図 1.1.2 は、大学・学生・学勢調査の役割関係を示しています。黒色の矢印は、本学と学生とのコミュニケーションの機会は少なく、双方のすれ違いや不満足が起こる実態を示唆します。赤色の矢印は、学勢調査スタッフが調査内容設計・調査実施をすることにより、本学学生の実態・価値観がわかることを示唆します。青色の矢印は、教務課や学生支援課等の様々な部署とミーティング(Campus MTG)をすることにより、本学の実態・価値観がわかることを示唆します。すなわち、本学と学生、双方の実態・価値観を照らし合わせることで、相互理解を促進する場として、学勢調査が機能していることを図で表しています。

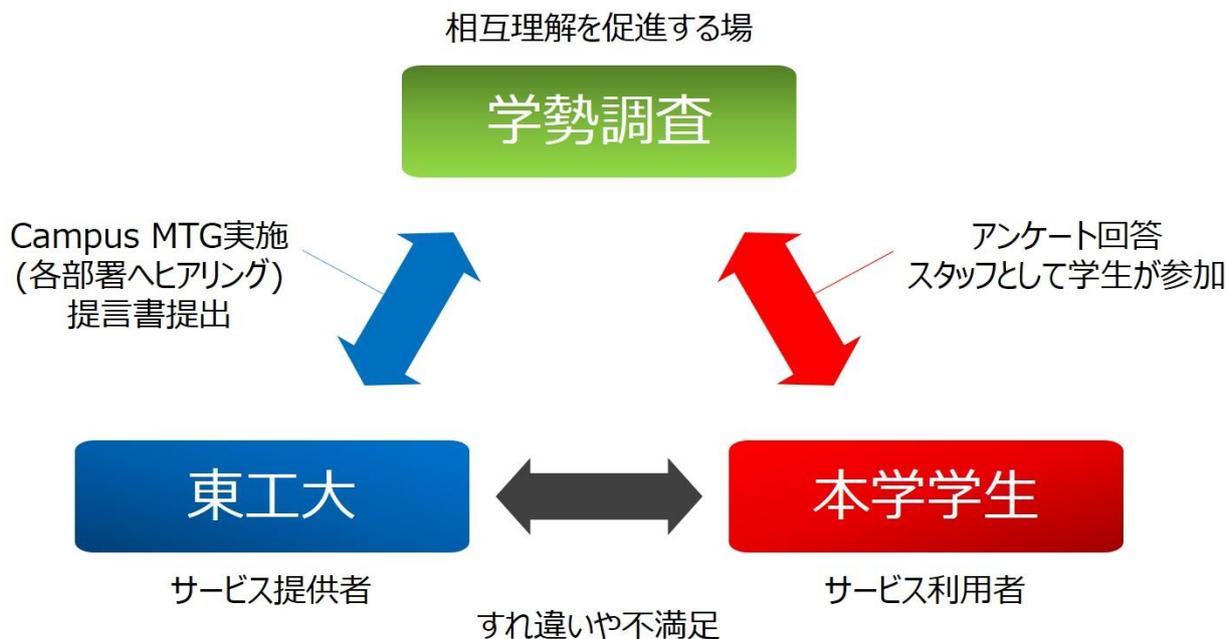


図 1.1.2 大学・学生・学勢調査の役割関係

1.2. 調査母体

学生支援センター自律支援部門に置かれている学勢調査 WG(主査:機械物理工学専攻岩附信行教授)が、学生スタッフの募集をしてアンケート調査を実施致しました。

1.3. 調査項目の検討

前回の学勢調査 2012 スタッフに新たなスタッフを募集し、計 6 回にわたって、調査項目の検討と、新項目の選定および、不必要項目の削除を行ないました。その際には、学内関係部署より新たに追加して欲しい調査項目案を提示していただきました。学勢調査 2014 設問検討会議の記録は以下の通りです。

第 01 回 2014 年 05 月 14 日(水) 学勢調査オリエンテーション

第 02 回 2014 年 05 月 21 日(水) 顔合わせ・方針の確認・役職決め

第 03 回 2014 年 05 月 28 日(水) 項目検討一Ⅰ基本情報&Ⅱ生活基盤について

第 04 回 2014 年 06 月 04 日(水) 項目検討一Ⅲ大学・学科・専攻&Ⅳ学習について

第 05 回 2014 年 06 月 11 日(水) 項目修正検討一キャンパスライフ・防災・アルバイト

第 06 回 2014 年 06 月 18 日(水) 学内関係部署からの項目案検討

第 07 回 2014 年 06 月 25 日(水) 新規項目検討・調査実施概要決定

1.4. 調査時期・調査対象・調査事項

本学勢調査は、2014 年 10 月 01 日～同年 10 月 31 日に実施されました。本学勢調査では学勢調査 2012 同様、本学に在籍している学部・修士・博士学生と専門職大学院生、研究生を対象としました。

調査事項については、「7. 調査資料集」に掲載しましたので、そちらをご参照ください。また、本学勢調査でも、本学学生の「生の声」をより広く取り入れるために、自由記述欄を多く設定してあります。本学学生の実態である「生の声」を、本学へ伝えるために、同意見数 3 件以上の自由記述意見が、「8. 自由記述一覧」にまとめてあります。

1.5. 調査方法・分析方法

本学勢調査は、外部業者に委託して、東工大ポータル内に学勢調査専用のページを設置し、実施されました。本学学生のみが回答できるものの、個人は特定できないようにアンケートを集計するシステムに仕上げました。

アンケートによる調査データは、項目ごとに分類し、アンケート調査実施と同時に募集した学生スタッフがデータ分析・問題点発見・現状分析・解決策議論を行ないました。学生スタッフの各班とその担当範囲は以下の通りです。

— 代表	……	全体の進歩状況管理・方針決定・部署連絡
— 学習班	……	本学学生の学習状況・生活について
— サービス班	……	本学の各種サービス(事務・WEB システム・防災・ハラスメント相談)について
— 施設班	……	本学の各施設・図書館・生協について
— データ班	……	調査結果整理・解析、提言書仕上げ

1.6. 全体会議の記録

学勢調査 2014 設問検討スタッフに加え、新たなスタッフを募集し、計 11 回にわたって、提言書作成に関して方針決定、議論等を行ないました。学勢調査 2014 提言書作成会議の記録は以下の通りです。さらに、ここに示す全体会議以外にも、必要に応じて各班で集まり、議論を重ねました。

第 01 回 2014 年 11 月 11 日(火) 学勢調査ガイダンス・班員決定

第 02 回 2014 年 11 月 18 日(火) データ解析ソフトの説明・ワークショップ

第 03 回 2014 年 12 月 03 日(水) 学勢調査 2014 新体制紹介・自由記述項目の内容発表

第 04 回 2014 年 12 月 17 日(水) Campus MTG 部署決め・提言完成までの流れ説明

第 05 回 2014 年 12 月 25 日(木) 自由記述の班別仕分け・仕事内容説明

第 06 回 2015 年 01 月 07 日(水) Campus MTG の予定調整・スケジュール変更内容説明

第 07 回 2015 年 01 月 20 日(火) Campus MTG 中間報告・提言書の書き方説明

1. 学勢調査概要

第 08 回 2015 年 02 月 06 日(金) 各班の現状と問題点報告・これからの予定確認

第 09 回 2015 年 04 月 08 日(水) 各班の提言について議論

第 10 回 2015 年 04 月 27 日(月) 全体提言について議論

第 11 回 2015 年 05 月 12 日(火) 提言書最終確認

1.7. 教職員の方の意見の取り入れ

提言案を作成するにあたって、キャンパスミーティングを実施した後、教職員の方々に提言草案を確認いただき、ご意見をいただきました。キャンパスミーティングとは、調査結果ならびにそれも基づいて作成された提言案について、本学の各部署へ質問書を提出したうえで、学勢調査スタッフと教職員の方々との意見交換を行うものです。キャンパスミーティングを行なうことにより、本学と学生との間の情報不足による誤解を避け、双方の実態・価値観を照らし合わせることにより、相互理解を促進させ、より現実的で実効性のある提言案を作成することができます。今回、ご協力いただいた部署ならびに教職員の方は以下の通りです。お忙しい中、キャンパスミーティングにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

— 三島良直 学長	…… 教育改革ならびに学生の意識について
— 水本哲弥 教育運営担当副学長	…… 教育改革について
— 外国語研究教育センター	…… 英語教育のレベルとクラスについて
— 学務部 学生支援課	…… 本学学生生活全般について
— 学務部 教務課	…… 本学教育とそのサービスについて
— 学務部 教育改革事務室	…… 現状分析のための教育改革の内容について
— 研究推進部 情報図書館課	…… 図書館について
— 研究推進部 情報基盤課	…… WEB システムについて
— 国際部 留学生交流課	…… 本学学生の留学事情について
— 財務部 主計課	…… 本学の人件費について
— すずかけ台地区事務部 学部課	…… すずかけ台の食事情、施設環境について
— 総務部 広報・社会連携課	…… 本学の公式ホームページについて
— 総務部 人事課	…… 本学の人事選考・TA 報酬について
— 総務部 総務課	…… 銀杏の清掃について
— 東京工業大学生協本部	…… 生協の飲食サービス・飲食施設・売店について

1.8. 公表および報告

本提言書は、本学学長に提出後、インターネットの専用サイトおよび冊子、CD-ROM 形式において公表されます。

※学勢調査専用サイト:<http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/>